

# きれいになった新発田川で

## ◆歴史資産を活かした川づくりを

新発田市には、新発田城をはじめ、清水園や石泉荘、寺町等、歴史的な資産があり、江戸の時代から続いてきた城下町ならではの景観を形成しています。

それらは、歴史的に少なからず新発田川との関係が深いものばかりです。現在の新発田川は汚れてしまっていますが、川の水がきれいになることによって、数ある歴史資産との関係が見直されるでしょう。新発田川と歴史資産との融合、それらを新発田川が有機的に結びくことによって、城下町新発田に新しい、それでいて懐かしい風が吹き込むはずです。人はそんなまちに魅力を感ずるのではないのでしょうか。



## ◆水辺を楽しめる空間の創出を

城下町新発田の生活を支えてきた新発田川。川を中心に人々は集い、働き、生活をしていました。子供達にとって、川は遊び場でした。

今、まちの中の水辺空間は見直されている時代です。新発田川がきれいになれば、安らぎと潤いを求めて人が自然と集まるようになるでしょう。そのような空間がまちには必要です。

やはり、新発田のまちは新発田川が原点です。ここ（新発田川）からまちが発展していきました。これからの新たなまちづくりも新発田川から始まるのではないのでしょうか。



## ◆川魚が棲めるきれいな川に

昔は、新発田川にもコイ、フナ、ウナギ、タナゴ、ドジョウ、場所によってはアユもあがってきていたとか。

今の新発田川には魚の姿は見られませんが、新発田市では、イバラトミヨ（新潟県レッドデータブックで絶滅のおそれが高い絶滅危惧I類）の生息が確認されています。このような魚も棲むポテンシャルをもつ地域です。新発田川の水質が良くなれば、魚も戻って来るでしょう。

まちなかの身近なところに魚が棲んでいる、それだけで川のあるまち新発田としての認知度があがるのではないのでしょうか。

